

## 東寺方小学区エリア・協創ミーティング 開催報告

日時：2026年2月14日（土）10:00～12:00

会場：東寺方小学校ランチルーム

多摩市エリア・協創エリアミーティングは、2時間のプログラム2部構成で開催されました。参加者は40名近くになり、5つの班が用意されました。当日会場には、現在中村経済研究室で共同研究を実施しているJAXA（国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構）宇宙輸送技術部門鹿児島宇宙センター管理課、射場技術開発ユニットの方々も視察にお見えになりました。

前半部は、市より協創の取組について説明がなされ、次いで協創メンバーからの活動紹介がなされました。「まずは動いてみる」、「できる人ができることをやるしくみ」、「コミュニティとコミュニティをつなぐ場を創り出すことができた」、「時々自分たちの活動に問いかけをする心がけ」、「楽しいから継続できるという基本」、「子どもたちのために続けていきたい」、「活動を仕事にしない」、「情報のゆるやかなやりとり」、「いざという時のための日頃の活動」といった、様々なメッセージをお伝えいただくことができました。



後半部は、ゼミメンバーが進行役となり、ワークショップが開催されました。2年ゼミと3年ゼミメンバーが中心になり、5グループでの作業に入りました。前半部で協創メンバーのこれまでの活躍が共有されたことも踏まえ、改めての自己紹介がグループ内で行われました。次に、質問タイムに入りました。ここでは、エリアメンバーから協創メンバーへと、地域での活動についての質問がなされました。そして、今後地域で何か動き出していくための具体案の作成に入りました。



各グループの案は、全体発表の場で全参加者に共有され、「デジタル社会に誰もが参画できる地域づくり」、「不登校や運動不足対策の地域イベントの実現」、「手紙で人を結ぶプロジェクト」、など様々なアイデアが寄せられました。



寄せられたアイデアを形にしていくために、研究室で使用しているアプリの導入もなされました。

終了後、本日の総括のためにゼミ生を中心にカフェに立ち寄ったところ、前半部で活動紹介されていた音楽グループ関係者によるコンサートが偶然開催されました。ご挨拶していたところ、JAXAというキーワードから、アーティストの一人の本職が宇宙事業関連であることを知り、様々なご縁や驚きを感じる1日になりました。

また、カフェでコミュニティ担当をされているスタッフとの意見交換の場もいただき、地域のニーズと大学生の力について新たな可能性を見出し、地域の高度化に向けて、今後連携を深めていくことになりました。



ゼミでは引き続き、共同研究における到達目標の明確化やゴール設定など、研究初年度から現在に至る振り返りを地域の方々と一緒に確認しながら、地域運営にどう向き合うかを考えてまいります。（ゼミ研究室）